

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-205984

(43)公開日 平成8年(1996)8月13日

(51)Int.Cl.⁶

A 4 7 G 25/48

識別記号

庁内整理番号

7361-3K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平7-17174

(22)出願日 平成7年(1995)2月3日

(71)出願人 595017724

三角 英雄

大阪府大阪市平野区流町3-4-9 ベル
ティハイム402号

(72)発明者 三角 英雄

大阪府大阪市平野区流町3-4-9 ベルテ
ィハイム402号

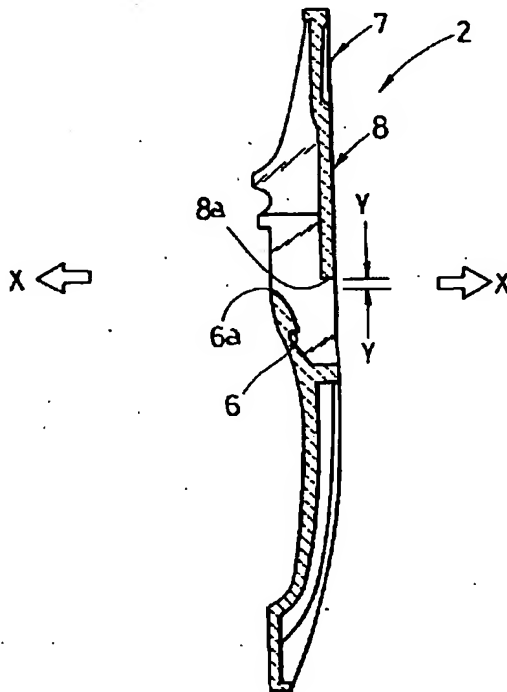
(74)代理人 弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

(54)【発明の名称】 合成樹脂製クリップ

(57)【要約】

【目的】安全で且つ安価な合成樹脂製クリップを提供できるようにすることを目的とするものである。

【構成】一端に挟着部を形成したクリップ片を向かい合わせに対峙させ、両クリップ片に互って“U”字形に折り返されて形成された合成樹脂製バネを装着し、該合成樹脂製バネの弾性力により両クリップ片の挟着部同士が圧接する方向に弾性付勢してなる合成樹脂製クリップにおいて、合成樹脂製バネの先端内面部分に掛合部を形成し、該掛合部が掛合する受け止め部と、受け止め部より折り返し側の合成樹脂製バネ部分を被う飛散防止部とをクリップ片に設けるとともに、受け止め部の飛散防止部側先端部と飛散防止部の受け止め部側先端部とがクリップ片を成形する金型の摺動方向に直交する方向で重なり合わないよう形成したものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】一端に挟着部を形成したクリップ片を向かい合わせに対峙させ、両クリップ片に互って“U”字形に折り返されて形成された合成樹脂製バネを装着し、該合成樹脂製バネの弾性力により両クリップ片の挟着部同士が圧接する方向に弾性付勢してなる合成樹脂製クリップにおいて、合成樹脂製バネの先端内面部分に掛合部を形成し、該掛合部が掛合する受け止め部と、受け止め部より折り返し側部の合成樹脂製バネ部分を被う飛散防止部とをクリップ片に設けるとともに、受け止め部の飛散防止部側先端部と飛散防止部の受け止め部側先端部とがクリップ片を成形する金型の摺動方向に直交する方向で重なり合わないよう形成したことを特徴とする合成樹脂製クリップ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は主としてハンガーに装着して使用される合成樹脂製クリップに関するものである。

【0002】

【従来の技術】衣服等を挟持するクリップを備えたハンガーは、水平に保持されるハンガー部材の両端寄り部に金属製の“U”字形をしたバネでクリップ片の挟着部同士が圧接する方向に弾性付勢してなる合成樹脂製クリップを装着し、この合成樹脂製クリップに衣服等を吊持するようにしている。

【0003】ところで、衣服等を製造メーカーから商社あるいは小売店に納品する場合にも上述のハンガーに衣服等を吊持した状態で納品するのであるが、昨今製造物責任法、所謂“PL法”により衣服等の縫製にも金属探知器により針等が残留していないのを確認してから納品されるようになっており、金属製の“U”字形をしたバネでクリップ片の挟着部同士が圧接する方向に弾性付勢してなる合成樹脂製クリップではこの金属製バネに金属探知器が反応してしまう。

【0004】そこでこうした金属探知器に対応するために高密度カーボネイト樹脂を主体とした複合材料により“U”字形に折り返した弾性を有する合成樹脂製バネを合成樹脂製クリップに装着し、当該クリップをハンガーに装着したものが用いられている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上記高密度カーボネイト樹脂を主体とする複合材料製の合成樹脂製バネを装着した合成樹脂製クリップでは、このクリップの繰返し使用時に時として合成樹脂製バネの折り返し部分で折れてしまい、折れて飛散する合成樹脂製バネの破片で手や顔等を傷付けてしまうことから、安全上に問題があった。

【0006】そこで、クリップ片を成形する時に合成樹脂製バネを被うようにすることも考えられるが、こうし

た場合には成形用金型の型抜きができなくなったり、成形用金型を複雑な構造で且つ金型の数（点数）が増えたりしてしまうことから、インニシャルコスト並びにランニングコストが高くなってしまおうという問題もあった。本発明は上記問題点に鑑み提案されたもので、安全で且つ安価な合成樹脂製クリップを提供できるようにすることを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明にかかる合成樹脂製クリップは、一端に挟着部を形成したクリップ片を向かい合わせに対峙させ、両クリップ片に互って“U”字形に折り返されて形成された合成樹脂製バネを装着し、該合成樹脂製バネの弾性力により両クリップ片の挟着部同士が圧接する方向に弾性付勢してなる合成樹脂製クリップにおいて、合成樹脂製バネの先端内面部分に掛合部を形成し、該掛合部が掛合する受け止め部と、受け止め部より折り返し側の合成樹脂製バネ部分を被う飛散防止部とをクリップ片に設けるとともに、受け止め部の飛散防止部側先端部と飛散防止部の受け止め部側先端部とがクリップ片を成形する金型の摺動方向に直交する方向で重なり合わないよう形成したことを特徴とするものである。

【0008】

【作用】本発明にかかる合成樹脂製クリップは、一対のクリップ片を向かい合わせに対峙させ、この両クリップ片の受け止め部に合成樹脂製バネの掛合部を掛合させると一対のクリップ片は合成樹脂製バネの弾性により挟着部同士が圧接する方向に弾性付勢された合成樹脂製クリップが組み立てられる。

【0009】こうした組み立てられた合成樹脂製クリップをハンガーに装着した場合にはこのクリップに衣類等を挟持して吊持することができるのである。

【0010】また、合成樹脂製クリップの繰返しの使用で合成樹脂製バネがその折り返し部分で折れることがあるが、折れた合成樹脂製バネはその反動で飛散しようとするがこれを飛散防止部が受け止めるのである。

【0011】

【実施例】以下本発明にかかる合成樹脂製クリップを図面に基いて説明する。図1は合成樹脂製クリップの斜視図、図2は合成樹脂製クリップの縦断側面図であって、図中符号1は合成樹脂製クリップを全体的に示す。この合成樹脂製クリップ1は主として衣類を吊持するためにハンガーに装着されて使用されるもので、合成樹脂で同形状に形成されたクリップ片2を向かい合わせに一対対峙させ、両クリップ片2・2間に互って合成樹脂製バネ3を装着してなるものである。

【0012】合成樹脂製バネ3は、高密度カーボネイト樹脂を主体とする複合材料製の合成樹脂で折り返し部分3aが厚く先端3bになるほど徐々に薄くなる“U”形に形成するとともに、先端部分の内面に鉤形に突出させ

3

た掛合部4が形成されている。

【0013】そして、合成樹脂製バネ3が装着されるクリップ片2・2は、図2及び図3に示すように、一端部に衣類等を挟持する挟着部5を形成し、略中央部には上記合成樹脂製バネ3の掛合部4を受け止める受け止め部6を形成するとともに、他端部には合成樹脂製クリップ1を合成樹脂製バネ3の張力に抗して開き操作する操作部7が形成され、当該操作部7から受け止め部6の先端6aの近傍位置にかけて飛散防止部8が形成されている。

【0014】操作部7と受け止め部6との中間部分には図4に示すようなハンガー9に装着するため、ハンガー9の断面に嵌合する形状の装着嵌合部10が形成されており、上記クリップ片2の一端に生成される挟着部5にはスポンジ等からなるクッション材11が貼着されている。

【0015】また、上記飛散防止部8は、クリップ片2の操作部から合成樹脂製バネ3の掛合部4の近傍位置まで延出されたもので、図3に示すように飛散防止部8の先端8aと受け止め部6の先端6aとはこのクリップ片2を成形する金型（図示せず）の摺動方向Xに直交する方向Yで重なり合わないよう隙間をもたせてある。このように、飛散防止部8の先端8aと受け止め部6の先端6aとが方向Yで重なり合わないようになると金型が互いに干渉しないことから、クリップ片2を成形する成形金型が一对で済ませられるのである。

【0016】上記のように形成されたクリップ片2・2の一对を向かい合わせに対峙させ、この両クリップ片2・2の受け止め部6に合成樹脂製バネ3の掛合部4を掛合させると一对のクリップ片は合成樹脂製バネ3の弾性により挟着部5のクッション材11の端面同士が圧接する方向に弾性付勢された合成樹脂製クリップ1が組み立てられる。

【0017】こうして組み立てられた合成樹脂製クリップ1は、その装着嵌合部10をハンガー9に嵌着させて左右に摺動可能に装着し、この合成樹脂製クリップ1に衣類等を挟持させると、合成樹脂製クリップ1は合成樹脂製バネ3で形成してあるので、これを例えばハンガー9に吊持させたままで検針用の金属探知器（図示せず）に通すことができるのである。

【0018】また、こうして合成樹脂製クリップ1を使用する時、時として合成樹脂製バネ3がその折り返し部分で折れることがあり、この折れた合成樹脂製バネ3の破片がその反動で飛散しようとするが、これを飛散防止部8が受け止めるので、飛散する合成樹脂製バネの破片で手や顔を傷ついたりすることを防止することができるのである。

【0019】尚、上記実施例では飛散防止部の先端と受

4

け止め部の先端とはこのクリップ片を成形する金型（図示せず）の摺動方向Xに直交する方向Yで重なり合わないよう隙間を形成するようにしてあるが、この隙間は必ずしも必要ではなく、隙間が無い状態でも本発明を実施できるのは勿論である。また、上記実施例では合成樹脂製クリップをハンガーに装着して使用するのを例に説明したが、本発明はこうしたものに限られず、図示は省略したが合成樹脂製クリップの装着嵌合部に短寸の円筒を介在させてこの円筒を回動中心としてクリップを開閉できるようにすると、小型のものでは選択ハサミとして、大型のものでは布団を干す時に使用するような布団ハサミにすることができるのである。

【0020】

【発明の効果】以上に説明したように本発明の合成樹脂製クリップに依れば、合成樹脂製バネの先端内面部分に掛合部を形成し、該掛合部が掛合する受け止め部と、受け止め部より折り返し側の合成樹脂製バネ部分を被う飛散防止部とをクリップ片に設けるとともに、受け止め部の飛散防止部側先端部と飛散防止部の受け止め部側先端部とがクリップ片を成形する金型の摺動方向に直交する方向で重なり合わないよう形成してあるので、クリップ片を成形する成形金型も簡単な構造の一对の金型で済み、イニシャルコストやランニングコストを低減して大量生産することができると言う利点がある。

【0021】また、合成樹脂製バネで合成樹脂製クリップが形成してあるので、これを例えばハンガーに装着して検針用の金属探知器に通すことができる。こうして使用する時に合成樹脂製バネがその折り返し部分で折れた場合、この折れた合成樹脂製バネはその反動で飛散しようとするがこれを飛散防止部が受け止めるので、従来のように飛散する合成樹脂製バネの破片で手や顔を傷ついたりすることがなく安全性を大幅に向上させることができるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】は合成樹脂製クリップの斜視図である。

【図2】は合成樹脂製クリップの縦断側面図である。

【図3】はクリップ片の拡大した縦断側面図である。

【図4】は合成樹脂製クリップをハンガーに装着した状態の斜視図である。

40 【符号の説明】

1・・・合成樹脂製クリップ

2・・・クリップ片

3・・・合成樹脂性バネ

3a・・・合成樹脂性バネの折り返し部

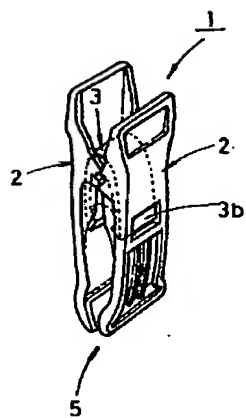
4・・・掛合部

5・・・挟着部

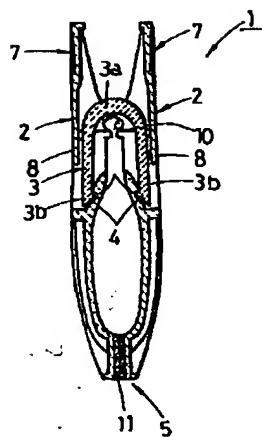
6・・・受け止め部

8・・・飛散防止部

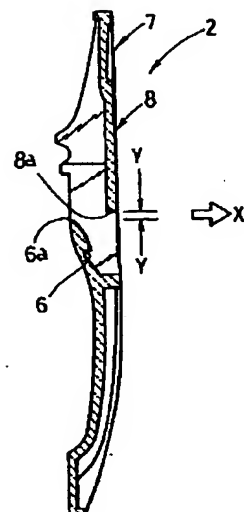
【図1】



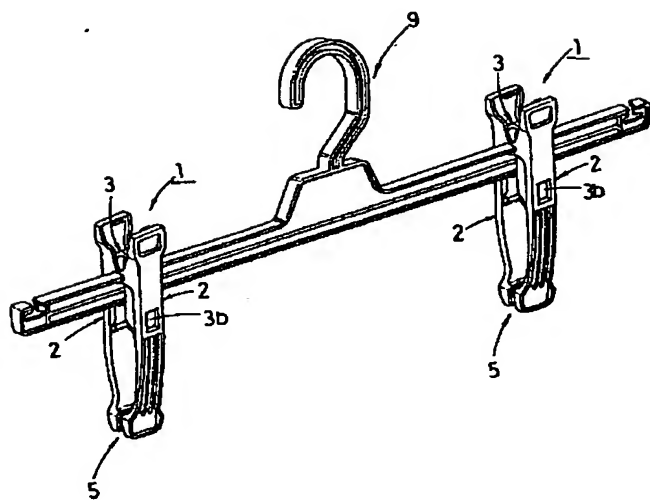
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP408205984A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08205984 A
TITLE: SYNTHETIC RESIN CLIP
PUBN-DATE: August 13, 1996

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
MISUMI, HIDEO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MISUMI HIDEO N/A

APPL-NO: JP07017174
APPL-DATE: February 3, 1995

INT-CL (IPC): A47G025/48

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent spring splinter and to improve safety by forming engaging parts in the inside surface parts at the front end of a synthetic resin spring and providing clip pieces with catching parts with which engaging parts engage and splashing preventive parts covering the synthetic resin spring part.

CONSTITUTION: The synthetic resin clip 1 provided with a pair of the clip pieces 2 which are elastically energized in a direction of bringing the end faces of the cushion material 11 of a clamping part 5 into pressurized contact with each other by the elasticity of the synthetic resin spring 3 is assembled when a pair of the clip pieces 2 are disposed to face each other and the engaging parts 4 of the synthetic resin spring 3 are engaged with the catching parts of both clip pieces 2. The synthetic resin clip 1 is mounted to clamp clothing, etc., by fitting its mounting and fitting part 10 to a hanger. The splinters of the broken synthetic resin spring 3 tend to splash by reaction in case the synthetic resin spring 3 breaks at the turnback part at the time of using the synthetic resin clip 1, but the splashing preventive parts 8 catch these splinters and, therefore, the damaging of the hands and the face by the splashing splinters of the synthetic resin spring is prevented.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO